

2019年 秋
発達調査を
開始いたします!!



東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート調査参加者対象

5歳児の発達特性の把握と発達支援のための調査 ～パイロット調査開始のご案内～

概要：

近年、「お友達の輪に入ることができない」「落ち着いていられず、集団生活への参加が難しい」など発達特性にアンバランスを抱え、日常生活に困難を抱えている子どもたちの増加が指摘されています。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構では、子どもの発達に関する健康調査（予備的調査）として、仙台市内で三世代コホート調査に参加の5歳児（2013年12月～2014年3月生まれ）350名を対象に発達に関する健康調査を2019年11月より実施いたします。

本調査は一次検査と二次検査の順で進める予定です（実施期間：2019年11月～2020年3月）。一次検査は対象となるお子さまの保護者さまに入力頂くWeb調査、また可能であれば幼児教育施設の担任の先生にご記入頂くアンケート調査を行います。調査結果を解析し、参加者お一人お一人に「個人結果票」を郵送いたします（2020年1月予定）。

お子さまの発達について更なる検査をご希望される方は、二次検査をお申込み頂けます。二次検査では当機構へお子さまと保護者さまにお越し頂き、小児科医と心理士による対面調査を実施いたします（2020年1～2月予定）。その後、「二次検査結果票」を面談でお返しする際に、必要に応じて医療機関をご紹介します（2020年3月予定）。

本調査を実施することにより、発達特性に関する研究推進と被災地住民の発達障害児を医療に繋げる体制構築に貢献して参りたいと考えております。

【5歳児での発達特性の把握の意義】

5歳児は、他者とのかかわりが増え、集団での行動が増えてくる時期です。「他人とのやりとり」、「集中力」、「落ち着き度」、「順応性」に関する発達特性が顕在化しやすい時期になります。就学前の5歳児での評価は、個々にあった子育て・環境の調整のためにも重要な時期です。また脳の機能的な特性により生じている発達障害は、気になったらすぐ動いてしまう、気持ちの切り替えができにくい、相手の心を読み取る力が弱いなどの発達特性を契機に判明することがあります。これらの児には周囲の理解・配慮が必要となり、早期の医療的判断・介入も欠かせないため、5歳児での発達特性の評価はとても重要です。

【発達特性の把握の重要性】

発達特性を知ることは、個々に合った子育て・環境整備ならびに発達障害の可能性を知る手掛かりとなります。特に集団生活の中でより発達特性は顕在化しやすいため、集団適応を判断する上でも重要となります。

調査期間：（パイロット調査）

2019年11月から2020年4月

研究の調査実績により、期間は延長される場合があります。

対象となる方：

(1) 東北大学 東北メディカル・メガバンク計画の三世代コホート調査に登録されている方

(2) 仙台市に在住で2013年12月1日～2014年4月1日に出生された方

上記の条件を満たす方に、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構より封書にて本調査のご案内をお送りいたします。

調査の流れ：

2019年11月

① 一次検査 (質問紙調査：約30分) 保護者 (+ 幼児教育施設の先生)

Webにアクセスし、日常生活のお子さまのご様子に関する質問項目にご回答いただきます。発達特性は集団生活の中でより顕在化するため、保育園・幼稚園の先生からも情報をいただくことで、より正確な判断が可能となります。

可能であれば、担任の先生にも質問(所要時間10分：44項目)へご回答いただけますよう、ご依頼をお願いいたします。担当の先生用の封筒には質問紙と返信用封筒が封入されております。記入が終わりましたら、先生ご自身でポストに投函いただくようお願いのリーフレットを同封しております。お渡し前にご確認ください。

2019年12月

結果郵送

検査結果サンプル案

子どもの行動面の個性・特性		
項目	★★★☆☆	コメント
他の人とのやりとり	★★	独特の発音や表現の仕方があり、他者への配慮や異質性やのびのびさを感じることがあるようです。
集中力	☆	人を見たり話を聞くとすぐに気が散りがちで、集中できない場面があるかもしれません。
落ち着き	★★	動きまわったりしゃべりすぎてしまうことが多く、じっとしているのが苦しいかもしれません。
体のバランス	★★	体の軸心が安定しにくく、歩いたり座ったりしにくいかもしれません。
手先の器用さ	☆	少し字書写で細かい作業が苦手かもしれません。
てきぱき度	★★	本人がてきぱきさやうとして、うそくやれないことが多いかもしれません。

子どもの生活への適応、子育ての大変さ		
項目	★★★☆☆	コメント
きもちの安定	○	情緒が不安定な状態に陥りやすいようです。
困らせる行動	◇	困らせる行動があることもありますが、
思いやり行動	○	他の方への気遣いや配慮がみられず、
生活の困り感	◇	生活で困りやすい場面は多いかもしれません。
子育ての大変さ	○	子育ての大変さや負担感が強いかもしれません。
こだわり、不注意、多動	★★	こだわりの強さや不注意、多動があるかもしれません。

2020年1月～3月

② 二次検査 (対面調査と質問紙調査：約1時間半) 対象児本人、保護者

(東北大学 東北メディカル・メガバンク棟へ来所)

一次検査にご協力いただいた方で、さらに詳細な発達特性の調査を希望される方に

小児科専門医/心理士による面接・行動観察を行います。

保護者の皆さまには、追加の質問紙調査(約1時間)にご回答いただき、ご提出いただけます。二次検査では、**コミュニケーションの特徴や行動面の特徴、感覚の過敏性、本人の特性**について検査いたします。

2020年2月～3月

結果説明

(面談：約30分) 保護者

(東北大学 東北メディカル・メガバンク棟へ来所)

二次検査の結果は、後日対面にてご説明いたします。医療的介入が必要と判断された場合は、医療機関へご紹介いたします。また、すでに何らかの診断を受け、かかりつけ医がいる場合は、検査結果をお持ちいただき、今後の診療にお役立ていただくことができます。

パイロット調査に参加するには：

- 対象となる方にはお便りが届きます。一次検査はweb調査になります。本調査にご同意いただける場合、同封されている手順書に沿ってご回答いただくことで調査へのご参加となります。
- 本調査では、さらなる発達特性の詳細な検査を希望される方に、二次検査を実施いたします。二次検査は一次のweb調査に参加された方を対象に行います。一次検査の結果票に同封される二次検査のパンフレットをご覧ください、電話にてご予約ください。二次検査は、東北大学 東北メディカルメガバンク棟に来棟いただき、対面にて面談・行動観察をさせていただきます。

なお本調査参加にあたり交通費や謝金をお渡しすることはございません。何卒ご了承のほど、お願い申し上げます。

調査に参加すると知ることができること：

- **お子さまの行動面の個性・特性、適応性**などがわかります。
他のお友達とのやりとり、集中力、落ち着き度、気持ちの安定など、集団行動をする上でも大切となる発達特性の結果をお送りいたします。
- 二次検査までお受けいただくと、**コミュニケーションの特徴や行動面の特徴、感覚の過敏性**などより**詳細な本人の特性**がわかります。二次検査結果は対面にてご説明し、医療的介入が必要な場合は、医療機関へご紹介致します

調査に参加しても知ることができないこと：

本調査で、発達特性の傾向について知ることができそうですが、本調査のみで発達障害の診断を確定することはできません。

よくあるご質問：

質問	回答
保育所・幼稚園の先生のご協力はどのように必要なのでしょう？	発達特性は、集団生活の中で、より特性がはっきりとします。集団生活でのご様子を把握されている先生方のご回答を合わせることで、多面的かつ正確に発達特性（特に対人・対社会性）を評価することができます。
保育所・幼稚園には通園していません。この調査に参加することは可能ですか？ 先生の回答が無い場合でも、この調査に参加が可能ですか？	可能です。 保護者さまと保育所・幼稚園先生のご回答を総合して評価いたします。 先生方のお答えがありますと、より正確な判定が可能となります。
この調査に参加するのに、費用はかかりますか？	費用のご負担はありません。無料にてご参加いただけます。
調査の質問項目には、家族の中で誰が回答するのが適していますか？	お子さんと接する時間が長い方がお答えいただくと、正確な評価につながります。
この調査の結果は、保育所・幼稚園の先生方にも通知されますか？	保護者の皆さまのみにお送りいたします。保育所・幼稚園への通知は、ございません。先生方に結果を知っていただきたい場合は、保護者の皆さまからお知らせください。
個人情報はどうに保護されますか？ アンケート調査の結果は、どのように使用されますか？	Web調査の運営は、(株)サーベイリサーチセンターに委託し実施いたしますが、すべて匿名化処理をした状態で行われます。また、すべての調査結果は、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構にて厳重に管理し、匿名化処理をした状態で、研究解析に使用させていただきます。
兄弟、姉妹のほうが落ち着きがなく、調査に参加したいのですが、参加することは可能ですか？	今回の調査は”5歳”の年齢に合うように構成された発達評価のシステムを用いて実施いたします。それ故、対象年齢以外のお子さまでは正確な評価が難しくなりますので、お受けいただくことはできません。
同じ年齢のお友達のところはこの案内が届いたと聞きました。是非参加したいのですが、いつ案内が届くのでしょうか？	今回は試験的な調査となり、仙台市にお住まいで2013年12月から2014年3月に出生されたお子さまを対象に調査を実施させていただいております。今回の試験的調査の状況に基づき、今後の調査実施予定が決定されます。対象となりました時にはご案内をお送りいたします。その際にはぜひご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。
web環境がなく、webでの回答ができないのですが、調査に参加できますか？	できます。 紙でのお回答も可能ですので、三世代コホート調査 発達調査係 (Tel:022-273-6289) までご連絡ください。
Web回答期限を過ぎてしまいましたが、調査に参加できますか？ Web回答期限を過ぎたので、2次検査だけ参加したいのですが、可能ですか？	申し訳ございませんが、web調査は期間を区切って調査の受付をさせていただいております。期限を過ぎてしまった場合は、お受けいただくことはできません。また、二次検査は一次検査と併せて判定いたします。二次検査だけお受けいただくことはできません。何卒ご了承ください。
うちの子は特に心配ないように思いますが、調査に参加したほうがよいですか？	調査は、お子さんの得意な点、苦手な点、適応度などを判定するものです。現在の発達特性を評価するものですので、心配な点がある方にもない方にもお役立ていただける結果票をお返しいたします。ぜひご参加をご検討ください。
発達特性に関して治療中ですが、さらにこの調査も受けたほうがよいのでしょうか？	発達特性全般を見させていただき、得意な点、苦手な点などを結果評価表にてお返しいたします。治療の弊害となることはありませんので、今後の診療にお役立ていただけたらと思います。
仙台どこもスクエアの健康調査と同日に二次調査を受けることはできますか？	5歳からお受けいただける健康調査は1時間半程度の時間を要する検査となります。 お子さんへのご負担などを鑑み、別の日にご予約をいただけますようお願い申し上げます。次回健康調査がスムーズにお受けいただけますよう、あらかじめ健康調査のご説明を二次検査の時にさせていただくことは可能です。予約時にご相談ください。
二次検査の時に、小さい子どもを連れていっても宜しいでしょうか？	二次検査では、保護者の皆さまに、お子さまの様子について問診をさせていただきます。 小さいお子さま同伴で実施させていただくことは可能ですので、お連れ頂いても大丈夫です。
二次検査参加時、駐車場の料金はかかりますか？	無料となります。 二次検査の予約時に、駐車場のご利用の有無についても確認させていただき、駐車場のご予約をさせていただきます。
保育所・幼稚園に、検査結果のご連絡をしていただけますか？	結果は、保護者の皆さまのみにお送りさせていただきます。 個人情報保護の観点から、個々人の情報を幼児教育施設にお送りすることはできません。 保護者さまから先生方に検査結果をお持ち頂き、情報共有頂きたく、宜しくお願い致します。
保護者さまに、先生方の回答内容は開示されますか？	開示はいたしません。 発達特性は、保護者さまの回答に園の先生のご回答を総合し、評価判定いたします。 判定には、園の先生がお子さまをどのように評価したかは直接反映されません。 また、質問紙の回答内容に関しては、開示いたしません。
この発達調査を保育園（幼稚園）でも活用してみたいのですが。	現時点では、この発達調査は三世代コホート調査にご参加いただいている皆さまのご協力のもと、調査研究を目的に実施しております。調査の精度等についても今後検証の上、将来的には広くご提供できるよう努めて参ります。 先生方へのご回答をお願いした質問紙の内、CLASPという「吃音、チック症、読み書き障害、不器用」をスクリーニングする質問紙は、厚生労働省のHPにて公開されております。園にてご活用いただけましたら幸いです。
この調査についての詳細を知りたいです。 問い合わせ先を教えてください。	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート調査 発達調査係 電話：022-273-6289（平日 9:00～16:00） E-mail：kodomo-cohort@ecc.megabank.tohoku.ac.jp

調査に参加することでの利益：

- お子さまの現時点での発達特性を知ることができます。発達は経時の変化を伴うものであり、一度の検査のみでは診断を断定することはできませんが、得意な面、苦手な面を知ることによって、日常の子育てや児の理解の一助となり、お役に立てることが可能です。
- 発達特性に関して診断・治療を受けている方は、結果をかかりつけ医と共有していただくことが可能です。
- 本調査にて、医療的介入が必要であると判断された場合には、ご希望を伺った上で医療機関へご紹介し、発達支援に繋げて参ります。

調査に参加することでの不利益：

- 調査の参加により、時間的拘束が生じます。一次検査での時間的拘束は、約30分を見込んでいます。二次検査での時間的拘束は、追加の質問紙調査約1時間、対面調査で約1時間を見込んでいます。
- 対象児の体調や状況によって、検査が追行できない場合がございます。途中中断や検査が追行できなかった場合は、正確な解析ができず、結果をお返しできない場合があります。
- 検査の結果、医療機関で精密検査を受けられた際に、これまでご家庭の中では気づかなかった特性（発達障害の疑い）が明らかになる場合があります。思いがけない結果により、不安が増すなど精神的な負担を与える可能性があります。

調査参加を途中でやめるには：

- 本調査へのご参加は自由で、参加した後に途中で取りやめることもできます。
- 参加の撤回を希望される場合は、下記窓口までお電話にてご連絡をお願い致します。追って「同意撤回書」を送付させていただきますので、ご記入の上、ご返信下さい。
- 同意撤回書を受理いたしました際には、本調査で収集した情報を廃棄する手続きを実施いたします。撤回のお申し出を受ける前に、すでに研究利用の対象となった情報、評価の対象となった情報、および外部研究機関に分譲した情報については、廃棄処理を行えない場合がございます。

【お問い合わせ窓口】

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート調査 発達調査係
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1
TEL：022-273-6289（平日 9:00～16:00）
E-mail：kodomo-cohort@ccc.megabank.tohoku.ac.jp